



CORPORATE REPORT 2021

---

2021年12月期  
第3四半期決算報告

2021年1月1日



2021年9月30日

**GMO**INTERNET

証券コード：9449

## 「GMOサイン」などへの 投資をこなしつつ 最高業績更新



代表取締役会長兼社長 グループ代表

熊谷 正寿

### 9月時点ですでに前年通期を上回る利益進捗



当第3四半期(7-9月)の連結業績は、各事業が堅調に推移したこともあり、GMOサイン、NFT事業など次なる投資を着実にこなしつつ、増収増益の決算となりました。1-9月の累計では、特に上半期において暗号資産事業が第三の事業の柱として大きく業績貢献したことから、最高業績を更新しました。特に段階利益の伸びが著しく、9月時点ですでに前年通期を上回る成果を上げています。

インターネットインフラ事業はDXの進展や巣ごもり消費・オンライン消費の拡大を受け、グループを挙げた戦略商材と位置付ける「電子印鑑GMOサイン」への重点投資をこなしつつ、増収増益となりました。インターネット広告・メディア事業は、商材の入替や営業手法の刷新、原価低減などの施策が奏功し収益性の改善が続いています。暗号資産事業は、期中における暗号資産価格とマイニング収益率の上昇により、売上高・利益が大きく伸長し、新たな事業の柱として貢献しました。インターネット金融事業ではFXスプレッド競争が激化した昨対比で収益性が改善し、増収増益となりました。

当社グループは引き続き「電子印鑑GMOサイン」、暗号資産決済事業で展開するステーブルコイン「GYEN」「ZUSD」、NFTのマーケットプレイス「Adam by GMO」など、新たな領域における取り組みを進め、長期継続的な成長を目指してまいります。

# 連結業績ダイジェスト (2021年7月1日▶2021年9月30日)

## ▼第3四半期決算のポイント

| 当第3四半期   |   |
|--|---|
| 売上高  | 営業利益  |
|  56,471 百万円 |  8,012 百万円 |
| (前年同期比 11.1% 増)  | (前年同期比 31.4% 増)   |

## ▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

| インターネットインフラ事業       |                     |
|---------------------|---------------------|
| 売上高 34,335 (4.6% 増) | 営業利益 4,021 (0.1% 増) |

### 当四半期のポイント

- 四半期売上高はアクセス以外全て伸長、前年同期比4.6%増
- 投資をこなし、前年同期並みの四半期営業利益40億円を維持

| インターネット広告・メディア事業    |                     |
|---------------------|---------------------|
| 売上高 12,058 (5.9% 増) | 営業利益 251 (473.2% 増) |

### 当四半期のポイント

- 四半期売上高はメディアの好調が牽引、前年同期比5.9%増
- 商材入替や原価低減などの施策が奏功し、利益が大きく改善

| インターネット金融事業         |                      |
|---------------------|----------------------|
| 売上高 7,386 (12.9% 増) | 営業利益 2,628 (48.0% 増) |

### 当四半期のポイント

- 四半期売上高は前年同期比12.9%増、営業利益は同48.0%増
- スプレッド引き下げ競争は一巡、収益性が改善

| 暗号資産事業               |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 売上高 3,677 (120.7% 増) | 営業利益 1,482 (285.3% 増) |

### 当四半期のポイント

- ビットコイン価格上昇でマイニング収益が増加、交換も好調
- 四半期売上高は前年同期比120.7%増、営業利益は約11億円増

# クローズアップサマリー

## 次世代エアモビリティ領域の取り組み

当社グループは、ドローンの社会実装や、2040年には160兆円市場を築くと言われる「空飛ぶクルマ」の実現を見据え、ビジネスフロンティアとしての“空”に進出する「次世代エアモビリティ領域」への取り組みを進めています。

2020年11月には、GMOグローバルサインを通じて、ドローン専門メーカーのプロドローン社および「空飛ぶクルマ」を開発するスカイドライブ社と、技術供与に関して基本合意しました。本合意のもとGMOグローバルサインは、ドローンの通信・制御におけるセキュリティ強化に寄与していきます。

また2021年5月には、経済産業省と国土交通省が運営する「空の移動革命に向けた官民協議会」に参画し、同年7月には、経済産業省製造産業局と2025年日本国際博覧会協会が立ち上げた「大阪・関西万博×空飛ぶクルマ実装タスクフォース」に参画するなど、国を挙げたエアモビリティ関連プロジェクトを成功させるべく、積極的な協力を行っています。

空の移動革命に求められる制度設計を技術面から支えるとともに、空の安全を守るべく、機体と制御システム間の通信・制御を維持するセキュリティ対策技術の高度化を図り、次世代モビリティ産業の成長に貢献してまいります。

1 ドローン・エアモビリティ特化型ファンドへの出資

2 ファンド出資先企業への技術供与

3 経産省・国交省  
「空の移動革命に向けた官民協議会」参画



SSLを活用、セキュリティを強化

## GMOアスリーツ、ニューイヤー駅伝出場へ

当社グループの陸上競技部であるGMOアスリーツは、2021年11月3日に埼玉県熊谷スポーツ文化公園で開催された「第62回東日本実業団対抗駅伝競走大会」において、5位入賞を果たしました。これによりGMOアスリーツは、2022年元旦に開催予定の「第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)」への出場権を獲得しました。

今回、23チームが出場した東日本実業団駅伝は、ニューイヤー駅伝の予選を兼ね、上位12チームがニューイヤー駅伝の出場権を獲得します。GMOアスリーツは、最終走者・7区の一色恭志選手が12.6kmの区間を35分56秒で走り抜き、1位を奪取するなど、終盤に猛追を見せて3時間41分10秒でゴールし、5位入賞となりました。GMOアスリーツは、新たな年の幕開けを優勝獲得で飾るべく、コンディションを整えながら引き続き練習に励み、チーム全員が万全の体制でニューイヤー駅伝に臨みます。株主の皆様の熱いご声援をお願い申し上げます。

### ■ 大会概要

#### 第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)

|        |  |
|--------|--|
| 開催日    | 2022年1月1日(土)                                   |
| 会場     | 群馬・前橋  |
| 住所     | 群馬県庁(スタート・フィニッシュ)<br>〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1 |
| ハッシュタグ | #ニューイヤー駅伝                                      |



GMOアスリーツの活動については、  
こちらからご確認ください。

<https://athletes.gmo.jp>



# 株主様向けインフォメーション

## 1 四半期配当

### 期初方針に基づき10.8円の配当

| (単位：円) | 1Q   | 2Q   | 3Q   | 4Q   | 配当総額 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 2021年  | 17.1 | 12.2 | 10.8 | -    | 40.1 |
| 2020年  | 6.6  | 6.2  | 7.4  | 10.6 | 30.8 |

## 2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。

※株主優待の申請手続きや、より詳しい情報につきましては株主優待申請サイトをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

## 3 お問い合わせ先

● 株主優待はこちら(GMOインターネット株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

● 株式事務手続きはこちら(三菱UFJ信託銀行株式会社)

0120-232-711(東京) 0120-094-777(大阪)

● 上記電話番号がご利用できない場合

042-204-0303(通話料有料)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

## 2021年12月期定時株主総会の運営方針について

2022年3月開催予定の定時株主総会につきましては、新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のため、インターネットによるライブ配信を中心とした運営を予定しております。事前のご質問の受付など、新たな株主様との対話の機会とすべく、インターネットを活用した安全なご視聴をいただけるよう環境構築を進めてまいります。

